

産地収益力向上支援事業（新技術導入広域推進事業）に関する事業評価票

※令和2年度事業評価において成果目標を変更している

九州農政局

No	事業実施主体名	新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 令和元年	目標年 令和3年	目標値	達成率		
1	大分県	大分県育成オリジナル花きの導入推進（再々評価）	24年度	新品種導入農家数	2戸	21戸	10戸	238%	・技術検討会の開催 ・実証ほ場の設置 ・栽培マニュアルの作成・配布 ・巡回時に栽培マニュアルの遵守状況等を確認・指導	栽培農家に対して個別・地域別に研修会等を開催し、栽培ポイントや栽培メリット等を説明することで新品種導入農家数を増やす事ができたことから、成果目標は達成した。
2	大分県	切り花の少量培地栽培技術の導入によるヒマワリ、ハボタンの産地育成（再々評価）	24年度	省力培地技術の導入農家数	7戸	14戸	10戸	233%	・技術検討会の開催 ・実証ほ場の設置 ・巡回時に栽培マニュアルの遵守状況等を確認・指導	対象花き以外の花き生産者に対しても少量培地技術の普及指導を行ったことで導入農家数が増加していることから、成果目標は達成した。
3	大分県	ドリンク茶専用茶園栽培管理技術の確立と普及（再々評価）	24年度	取組農家数	21戸	29戸	25戸	200%	・技術検討会、研修会の開催 ・実証ほ場の設置	多収品種の導入や作業分散技術について現地で実証し、県全域へ普及を図った。これによりドリンク茶原料の生産に取組む法人・個人農家が増え、栽培面積も拡大した。 また、ドリンク茶原料を買取る大手飲料メーカーの品質適合評価に合格できるよう品質向上対策・指導を行うことで、成果目標は達成した。
				品質適合率	56%	71%	66%	150%		
4	宮崎県	無巻ひげ性スイートピー「ムジカ」シリーズの普及・定着（再々評価）	24年度	生産面積20a以上の生産者における省力化品種の（「ムジカ」シリーズ）導入割合	55%	50%	60%	-100%	・技術検討会、研修会の開催 ・実証ほ場の設置 ・栽培マニュアルの作成・配布	農業革新支援専門員を中心として各地域の普及指導センター及び関係機関と連携し、本品種の栽培実証を行い県全域への普及・定着を図ったが、成果目標は達成していないことから、改善計画の提出を求める。